

サイクリングロードについて

- ・サイクリングコースと呼称すると利用がサイクリングに限定される恐れがあるので遊歩道とした方がよい。
- ・歩車分離は必須であろう。幅員4mの中でサイクリング、ジョギング、ウォーキングの利用が混在すると危険で問題がある。
⇒幅員の拡幅は構造上、管理用通路という位置づけ上、不可能である。運用等での対応を検討していく。
(例: 右岸側と左岸側で利用を分離)
- ・下流から続く経路ということでよいのか。
⇒大庭遊水地以北は都市計画決定されていない状況。今後の課題である。
- ・違法駐車が懸念されるため、現道と管理用道路を分離してほしい。

《結論》

- サイクリングロードは管理用道路の利用形態の一案として提示した。上部利用の議論とは分けて考える。
- 歩行者と自転車と自動車の分離については、今後の整備に向けた要望として整理する。

上部利用について

- ・基本的には今回説明のあった考え方でよい。
- ・専用施設でなくてもスポーツ施設があるのがよい。
- ・土と芝のエリアを作ったのはよい。
- ・D池にはトイレを設置しないのか。
⇒D池にも通路入口にトイレを設置する予定である。
- ・手洗い場は必要ではないか。(特にC池)
- ・手洗い場はトイレと共用であると壊される可能性がある。
⇒手洗場は、想定していなかったが、今後対応は可能と考える。
- ・B池のトイレが配置されている場所は、管理棟予定地の候補地ではなかったか。
⇒管理棟の位置は検討中である。中村橋の隣の敷地とB池の隣の三角地が候補地である。
- ・こぶし荘の北の旧六会橋はどうなるのか。
⇒撤去することになっている。
- ・A池駐車場は大橋の南側に作ってほしい。
- ・湘南台高校の道路から入れる様にしてほしい。
⇒構造的に不可能である。
- ・水道料金がかかるので、自墳水を手洗い場に利用した方がよい。
⇒蛇口次第で水利用量は減らせる。一方で、衛生面を考慮すると水道水がよい。
- ・藤沢市の公園では、トイレは夜間シャッターで締め切りしている。
- ・C池はグラウンド整備に水が多量に必要である。

《結論》

- A~D池の利用については大枠として了承した。この方針で検討を進めることとする。

管理について

- ・行政主体(市)ではなく、地域団体(NPO等)との共同の体制づくりをしていく必要がある。
- ・川の西側には公園がなく、自治会などにも維持管理の経験がないので困難と考えられる。
- ・管理を自治会が全部負担するのは困難。市が全面的に実施するにしても費用がかかって大変。

《結論》

- 維持管理についての細かなルール(管理主体について県or市、運用は有料or無料等)については次年度以降に実施する予定。